

古河機械金属グループ

CSR 報告書 2021

編集方針

古河機械金属グループは、「社会に必要とされる企業であり続ける」ため、社会課題の解決やSDGs達成への貢献に取り組んでいます。本報告書は、当社グループのCSRへの考え方やステークホルダーの皆さまに対する社会的な取り組み、環境面での取り組みなど、CSR推進に関する活動についてわかりやすくお伝えするために作成しています。

報告対象期間

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の実績が中心ですが、過去の取り組みに加え、2021年度の取り組みを一部含みます。なお、組織および役職名は2021年7月末現在にて記載しています。

報告対象範囲

【環境データ】

古河産機システムズ(株)生産本部、古河ロックドリル(株)高崎吉井工場、古河ユニック(株)佐倉工場、古河電子(株)いわき工場、同半導体素材製造課(半導体素材分工場)、同光学部品製造課(光学部品分工場)、古河ケミカルズ(株)大阪工場、古河機械金属(株)足尾事業所、古河キャストック(株)、足尾さく岩機(株)、FRDいわき(株)

【環境会計】

環境データ報告範囲、古河機械金属(株)先端技術部、同新材料開発部

【環境データ、環境会計以外】

古河機械金属(株)、連結子会社

参考にしたガイドライン

- ・GRI (Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
- ・環境省「環境会計ガイドライン2005年版」
- ・(一財)日本規格協会「JIS Z 26000:2012 社会的責任に関する手引(ISO26000:2010)」

社名表示

古河機械金属(株):分社化した中核事業会社の事業持株会社
古河機械金属グループ:連結子会社32社、持分法適用会社5社
中核事業会社:古河産機システムズ(株)、古河ロックドリル(株)、古河ユニック(株)、古河メタルリソース(株)、古河電子(株)、古河ケミカルズ(株)

報告書発行日

2021年9月(前回:2020年9月、次回:2022年9月予定)

CONTENTS

会長メッセージ	3
トップインタビュー	4

■ 特集

中核事業会社のSDGsへの取り組み

機械事業 ロックドリル部門は「トンネル工事用機械」で「社会インフラ整備」に貢献	7
素材事業 電子部門は「窒化アルミニウム」で「豊かな社会の実現」に貢献	9

■ 古河機械金属グループのCSR

古河機械金属グループの事業とCSRの位置づけ	11
製品・サービスを通じて貢献	13
CSRマネジメント	15

■ 活動報告

ガバナンスとマネジメント		17
お客さまとの関わり		21
環境への取り組み		23
従業員との関わり		29
取引先との関わり		33
地域社会との関わり		35
株主・投資家との関わり		36
企業情報		37